

「心のバリアフリー」とは

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。令和3年度、静岡市心のバリアフリーイベント実行委員会では、コロナ禍での新たな取組として、2つの企画を実施しました。

障がいのある人が作った商品 パッケージデザインコンテスト

障がいのある人とない人をつなぐため、パッケージデザインを募集しました！多くの応募作品から最優秀賞に輝いた作品を紹介します！最優秀賞に選ばれた商品は、静岡市役所静岡庁舎食堂等にて販売されます。

応募対象：静岡市内にお住まいの方、または静岡市内へ通勤・通学している方
募集期間：令和3年11月中旬から令和3年12月28日 応募総数：92件
審査員：実行委員会・実際に商品を作る障害福祉サービス事業所

お茶ゼリー 最優秀賞

受賞者氏名

鈴木 春華 (すずきはるか)
(市立蒲原東小学校)

受賞の決め手 (商品を作る障害福祉サービス事業所)

当初のデザインでは、パッケージといっても蓋に小さなシールを貼っただけでした。良いデザインがあれば採用したいと思っていました。このデザインは、様々な年代を絵に描いてあり、お茶ゼリーの文字がわかりやすいと障がいのある利用者さんからの声もありました。



応募時のデザイン

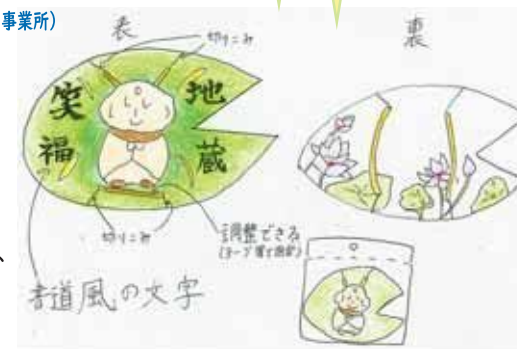
笑福地蔵 最優秀賞

受賞者氏名

小長谷 紗代 (こながや さよ)
(清水国際高等学校)

受賞の決め手 (商品を作る障害福祉サービス事業所)

一つ一つ手作業で丁寧に制作している商品なので、お客様の目を引く新たなパッケージにしてより多くの方に笑福地蔵を知ってもらいたいと思いました。「笑う門には福来る」という想いから「笑福地蔵」という名前がついているので、手に取ってくれた方が笑顔になるような暖かいパッケージを選びさせていただきました。



応募時のデザイン

バネポーチ 最優秀賞

受賞者氏名

海老名 紗穂 (えびな すずほ)
(市立籠上中学校)

新商品名 Spring pouch

受賞の決め手 (商品を作る障害福祉サービス事業所)

商品の形が特徴的で、よいパッケージが思いつかず、困っていました。ステキに見えるパッケージがあったらいいなと思っていました。この作品は、オシャレで、コスト面でも想定範囲内であったので、選出しました。



応募時のデザイン